



# 児嶋よしひこ

## 後援会だより

2021年2月発行  
発行/児嶋よしひこ後援会

〒422-8528  
静岡市駿河区小鹿 3-18-1  
三菱電機労働組合静岡支部内  
TEL 054-287-3160

【Vol.4】



## いよいよ来月決戦！児嶋インタビュー！

支援者の皆さまからのご期待やご要望、温かい応援メッセージが続々と届いています。ありがとうございます！児嶋よしひこが考える「まちづくり」について聞いてみました。

### Q. 保育施設の充実化など、子育て支援に関する要望が多く寄せられています。子育て世代が働きやすいまちづくりにも直結する課題ですが？

静岡市は、全国的に見て、特に待機児童が多いというわけではありませんが、それでも共働きや単身の子育て世帯にとって、希望するタイミングで職場に復帰するための保育施設探しは簡単ではないですよ。このコロナ禍にあってはなおさらです。



人口減少に悩む静岡市としては、安心して子どもを育てるまちをつくることは絶対に必要不可欠です。安全な環境づくりや、子どもの医療費負担の見直しなど、子育て世帯に対する様々な形での支援に加えて、関係施設や保育士さんなどに対する支援も強化するなど、基盤を固めてまち全体で伸び伸びと子どもたちを育てていく環境を作っていきたいと思えます。教育についても、時代にあった柔軟な発想で新しい在り方を考える時が来ていると思えます。

### Q. 高齢者や障害のある方も住みやすい街づくりについては、どのように考えますか？

医療、交通、雇用など、あらゆる点における改善と、何より市民全員の「助け合い」なくして実現できる問題ではありません。



まず福祉施設を充実させるには、そこで働いていただく方々の労働環境を改善する必要があると思えます。そのためには、施設に対する行政からの支援も必要です。

交通について言えば、買い物や通院に困らない巡回バスや移動販売車、山間部の乗り合いバスや、安価で利便性の高いタクシーを整備するなど、移動手段に関する不安を払拭できれば、高齢者や障害のある方のみならず、全ての皆さんの将来の不安も軽減できていると思えます。

最近の高齢者は、まだまだ若くて元気です。元気な高齢者の雇用を確保することで、高齢者もまちも活気づけていきたいですね。

障がいのある方についても、リモートワークなどそれぞれに合った柔軟な働き方で、個々の個性や能力を生かした雇用を生み出すことが可能だと思っています。

### Q. 防災への関心が高い方も多く、多くのご要望が寄せられています。

避難場所や避難所の確保、備品の備えなどはもちろん重要ですが、いざという時に混乱なくスムーズに行動できるかどうかは、十分な情報があるかが重要なポイントです。防災用や災害時用の情報網を強化して、日頃から情報発信を行い、多くの皆さんにそれを知っていただける仕組み作りをしなくてはならないと思えます。



実際の災害発生時には、各地の被害状況や、交通・ライフラインへの影響、地震の場合は余震や津波、台風や大雨では河川の氾濫や浸水情報など、タイムリーかつ正確な情報が必要です。被害の状況によってできることは変わってきますが、今の時代、普及率を考えれば、スマートフォンを活用した情報提供が最も有効だと思えます。持っていない世帯には、例えばラジオやタブレットなどの端末を、防災用に特化した仕様で簡単に使えるような状態にして配布するなど、誰のところにも情報が届くような情報網を整備して緊急事態に備えることが大切です。

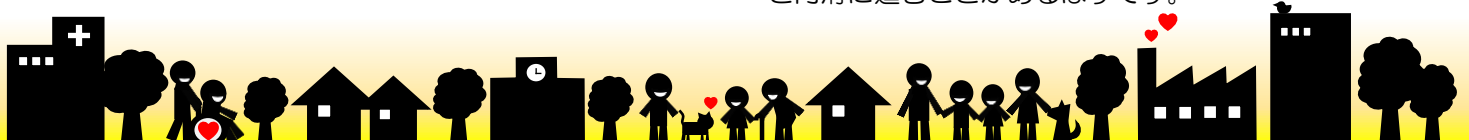
### Q. 人口流出に歯止めをかけるべく、魅力的な街づくりが求められています。

まず、独自の文化・歴史を活かし、みんなが「住みたい」と思えるまちにすることが重要です。観光資源の有効活用や、歴史的価値の向上、静岡グルメの拡散などで、他からの注目度を上げることも一つの方法だと思えます。高校生や大学生、若い世代の人たちに協力してもらって、SNSなどを上手に活用するのもいいと思えます。



それから、静岡市をもっと活力あるまちにするためには、雇用を増やすこと。温暖で都市圏に近い恵まれた環境を武器に、各方面にアピールして新たな企業を誘致します。

そしてもう一つ、今静岡で頑張っている企業をますます元気にすること。海外研修生や他の地域からの移住者など、新たな人材を確保したり、企業のノウハウを持ち寄った人材育成事業を推進するなど、行政が企業間の連携と市民との繋がりを舵取りすることで、もっと円滑に進むことがあるはずですよ。



## 後援会事務所開設！

穏やかな好天に恵まれた2月6日(土)、児嶋よしひこ後援会事務所開所式を行いました。

関係者の皆さまのご臨席のもと、念願成就の御祈禱、ご臨席いただいたご来賓の皆さまや池邨善満市議からのご挨拶をいただき、最後に児嶋よしひこが決意表明を行いました。

新型コロナウイルス対応でご臨席いただける人数に限りがあったため、Zoomを利用した動画配信も行い、離れた場所からも新しい形で皆様に見守っていただきました。

お祝いのお花や応援の祝電もいただき、皆さまの熱い応援で素晴らしいスタートを切ることができました。児嶋をはじめ後援会事務局一同、身が引き締まる思いで、また決意を新たにしています。

当日の様子は、事務局のモニターでご覧いただけます。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください！



児嶋よしひこ後援会事務所  
静岡市駿河区豊田 1-8-27  
(TEL)070-1431-8163

★皆さまお気軽にお立ち寄りください★

## 今後のスケジュール予定

### 【総決起集会】

3月8日(月)

18:30~19:30(予定)

ツインメッセ静岡北館3階  
第3小展示場

### 【出陣式】

3月19日(金) 10:00~(予定)

(場所未定)

※いずれも、詳細が確定しましたら  
Facebook等でお知らせします。

★動画配信も検討中です！

お問い合わせはこちらまで。

[ykkouenkai@outlook.jp](mailto:ykkouenkai@outlook.jp)

応援をお願いします！



私は「児嶋よしひこ」さんを応援します！

## 取引先後援会会長 宮川 高明さん

宮川工業株式会社の宮川でございます。取引先後援会会長を御指名いただき、3月28日(日)の投票日まで微力ではありますが徹頭徹尾応援をさせていただきます。

さて児嶋よしひこさんは三菱電機入社後長く冷蔵庫設計に携わり、中国への出向、その後研修課長等豊富な経験と実績を積み政界への転身を決められました。候補者となってからの児嶋よしひこさんの今日までの行動は、

地区数か所での街頭演説や、地元町内会、障がい者施設、一般企業等の皆様へひたすらご自分の政治信条を訴えかける事に全力を傾けており、必ずやその真剣な行動力、実行力、情熱や優しさを皆様方にご理解いただけるものと信じております。

すでにご承知の通り、児嶋よしひこさんが掲げるスローガン『協働のまちづくり』は、産業の振興や雇用確保、優しいまちづくり、未来への教育の充実化、そして防災・減災への強化など大変幅広い視野からその目標を設定した具体的に効果的なまちづくりの原点ともいえるべき内容です。

是非ともこの西豊田地区から新しい風を市政に送り込み、市民・事業者・行政が一体となったまちづくりを推進していただく事を強く望むところであります。皆様方には何卒絶大なるご支援を賜ります様宜しくお願い申し上げます。



児嶋よしひこ(左)と宮川会長(右)

## 【編集後記】

年が明けたと思ったらあっという間に2月。2月6日(土)には、晴天の中、今後の活動拠点となる後援会事務所の開所式が無事に執り行われました。ご臨席頂いた方々、そしてZOOM配信をご覧頂いた皆様、誠にありがとうございました。ここを拠点に最後まで精いっぱい活動して参ります。また現在は支援者の皆様に「静岡市にひと言！」と題し、色紙に市への要望や児嶋への激励メッセージを記入頂いておりますが、本当に多くのご意見ご要望があることを認識したと同時に、皆様からの期待の大きさに身が引き締まる思いであります。

今後とも皆様の引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い致します。

後援会代表 仁王 尚夫

## 公式ホームページ

プロフィールや政策を紹介しています。  
後援会だよりも掲載中！



## facebook

児嶋よしひこが、日々  
思うことを綴っています。  
ぜひお友達申請を！



## LINE 公式アカウント

各種情報をお伝えします。  
まずは右のQRコードから、  
繋がってください！

